

2016年1月31日

2016年 モルドバジャパン新年会の実施について（報告）

一般社団法人 モルドバジャパン

1月10日、都内のルーマニアレストランにて当団体の新年会を行いました。公式の新年会としては今回が初めての開催であると同時に、当団体が法人化してからちょうど一年が経過したところの、いわばアニバーサリー・イベントでもありました。参加者には、当団体会員をはじめとし、モルドバ人・ルーマニア人コミュニティの方々やモルドバに関連する活動に従事している方、モルドバという国に純粋に興味のある方など、多方面からのご来場を賜りました。

日 時	2016年1月10日（日） 17:00 - 20:00
場 所	レストランルーマニア（東京都中野区）
参加人数	42名（主催者含む）

【現場から】

開会の挨拶は当団体の雨宮夏雄代表理事より執り行われ、団体メンバーの簡単な紹介を織り交ぜつつ、来場者への感謝の辞を述べました。これに続き、モルドバ現地のパートナー団体の代表であるライサ・ブラドゥツァーヌさんより頂いた、当イベントの開催および当団体法人化一周年の祝電を読み上げました。ルーマニア語の原文は、当イベント出席者で千葉県在住のモルドバ人である羽山アンナさんをお願いし、日本語への翻訳は当団体の川村理事が行いました。



会場の様子

一連のスピーチの終了後、来場者全員で乾杯を行いました。

乾杯の音頭をとったのは、当団体の正会員で早稲田大学OBの相馬威宣さん。相馬さんは川村理事の出身大学の先輩であると同時に、モルドバジャパンを法人化以前から現在に至るまで資金面、ノウハウ面共に熱心にサポートをくださっている方です。また、当イベントの記録写真係も快く引き受けてくださいました。



スライドでモルドバの紹介をする川村理事

乾杯後は、テーブル一面に豪勢な料理を40名あまりの参加者で囲み、賑やかでリラックスした歓談に興じました。

しばしの歓談後、川村理事による当団体紹介・活動の実例、モルドバ共和国の魅力・基礎情報などを、スライドとスクリーンを使ったプレゼンテーション形式で発表しました。活動の実例としては、昨年11月にモルドバの首都キシナウで開催した「フジコ・ヘミング モルドバ公演」を取り上げ、写真を通して現地の様子を紹介しました。

プレゼンテーション終了後はいっそう歓談に花が咲き、盛り上がりがピークを迎えたころ、モルドバ・ルーマニアの伝統的な輪ダンス「Hora」が行われました。Hora はモルドバ人ならば誰でも踊れるほどポピュラーなダンスであり、様々なお祝い事の場面で使われています。Hora を知らない日本人の参加者も、すぐに馴染んで一緒に新年会の余興を楽しんでいました。



Hora を楽しむ参加者の皆さん

Hora の白熱も冷めやらぬ中、当イベントは20 時をもって閉会となりました。当イベントを通して初めてモルドバ人・ルーマニア人同士が知り合ったケースもあり、在日コミュニティもより一層盛んになることが期待されます。また、モルドバに種々の分野で携わる日本人同士の交流も活発に行われ、今後の協力関係のきっかけづくりの場として大きな意義を示しました。

最後に、当イベントの開催にご協力いただいた会員および参加者の皆様に、心からの感謝を申し上げます。